

## RS REFINE HONDA BEAT用 3Dメーターシート 取付説明書

(2021.5.31更新 作業前に印刷、スマホへの保存をしておくとう便利です)

ご購入有難うございました。内容物に欠品がないかご確認の上、作業を行って下さい。  
作業の際の破損や塗装ミス、怪我につきましては、一切の責任は負えませんので自己責任で作業をお願いします。

当作品は競技車ででの使用は想定していません、表示速度以上の使用は不可です。

### はじめに

製作にあたり、ご協力頂いたNosbeatさん、H2工房さん（ビートのメーターOHをされています）、Opencafeさんと熊本のビート乗りの方々、製作を応援して頂いた皆様大変有難うございました！当初の予定より大幅に製作期間が伸びましたがお陰様でクオリティーもアップし無事完成となりました。

### 作業前の注意点

・ビートのメーター（部品番号は共通）には、経緯は不明ですが三種類ほど文字の太さが異なる車両があるようです。ぱっと見ほとんど違いがわからず、並べて比較してやっと分かる程度違いです。※製作に使用したメーターや試着して頂いたは主流と思われる太文字タイプの車両です。

・ビートのメーター文字盤自体が経年劣化で収縮し、抜き文字位置が少しズれる場合もありますのでご了承ください。

・メーター修理等で盤面のネジが変更され、ネジ頭が高くなっている場合、ネジ頭とメーター針が接触する可能性があります。その際は、H2工房さん特注のネジをオプション販売していますのでお問い合わせください。

・3Dプリントの際のサポート痕（支柱の分離あと）が少し残る場合があります。できるだけ目立たないように造形していますが、気になる様であれば細目のサンドペーパーで少し削って下さい。

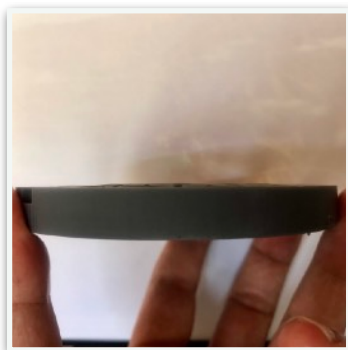
※取説が複雑になってしまう為、ここではメーターの分解、装着に関してのみ記載させて頂くことをお許し下さい。メーター本体の脱着は[ネット](#)で検索すると出てきますのでそちらを参考をお願いします。[こちらをクリックすると検索結果を表示します。](#)

### 装着に準備して頂く工具等

精密ドライバー、プラスドライバー、六角レンチ、ハサミ、  
マスキングテープ、両面テープ、ボンド（瞬間接着剤はNG）、色セロファン（使用する場合のみ）

### 塗装のお勧め

HOLTS製カースプレー（ソフト99より吐出が安定してると思います）  
ガンダムマーカー（文字塗り用にあると便利、但し、墨入れマーカーはNG）



極薄造形の際、盤面が正面側への膨らみ、針が干渉しない様に裏面側に少し膨らませて、カバー装着で密着する作りになっています。



## 取り付け手順

### ①メーターフードカバーの取り外し

メーターフードを裏返しの裏側の四隅六角ネジを取り外します。カバーが外れたらメーターユニットの外周にある5本のプラスネジを取り外し、メーターユニットを取り出して下さい。



### ②メーターレンズの取り外し



メーターレンズはメーターフード前面のカバーへ、固定リングで接着してあります。固定リングはボンドで細かく点留めされていますので、大小のドライバーを隙間に差し込んで、少しずつこねながら慎重に剥がして取り外して下さい。



最初の一箇所がパリッと剥がれる音がすれば、そこを起点に外していけると思います。

恐らくココが一番気を使う作業になると思います。焦ってフードを割らないように慎重に作業して下さい。

レンズの固定カバーが取り外せたら、レンズを取り外して下さい。

ゴムパッキンは使用しますのでそのまま装着しておいて下さい。

### 3Dメーターシートの塗装

ビートのタクメーターの針先を非常に盤面との隙間が狭く、設計の際も塗装後のクリアランス確保のために限界まで薄く作っていますが、塗装の際は、こんもりと厚塗りにならないように注意して下さい。

缶は100程度上下に振り、しっかり液を攪拌しましょう。スプレーとメーターシートを20～30センチ離し、まだらになる位に薄く塗っては乾燥を繰り返します。

1回分を3回位に分けて塗るイメージくらいの薄さで塗装すると上手くいきやすいです。

逆に10センチ位しか離さなかったり、一度に大量に吹き付けてしまうとエッジも潰れて見た目も悪くなりますし、タクメーターの針先干渉の原因になります。

NOSBEATさんのYoutube動画も参考にしてみてください。



※細かいところはマスキング施工や、ガンダムマーカー使用がお勧めです！



GSIクレオス GMS126 ガンダムマーカー 細先タイプセット2 (ZV82280)

1,180円 + 送料630円

使用する缶スプレーのお勧めはホルツのカーズスプレーとなります。

使用の際は缶に表示されてる乾燥時間を守りましょう！日暮の屋外作業と焦りは禁物です。冬場は少し缶を温めないで吐出量が不安定になりますので、更に注意が必要です。

ガンダムマーカーはティッシュ等に先を数回押し付けることで塗料が出てきます。大量に出してしまった場合は拭き取って、液量を調整して下さい。

塗料中、塗料が薄くなった際はメーターシートの上でマーカーを押し込まず、ティッシュの上で塗料を出しましょう。メーターシート上でやってしまうと塗装部に塗料が出過ぎて失敗してしまいます。

### アサヒペン 強力塗料はがし液(100ml)

★★★★★ 3.29 (7件)



最安値

488円

+送料800円

4ポイント(1倍)

ドンドンマーケット

購入手続きへ

もし失敗したら、塗装はがし液でやり直しが効きますので再チャレンジして下さい。





### ③針ストッパーの取り外し

タコメーター、スピードメーターの盤面についている精密ネジを取り外します。ネジが外れたら、盤面を浮かせる状態になります。盤面を浮かせ隙間から覗き込んで、針ストッパーの足をラジオペンチで閉じさせて、前面から引き抜いて下さい。

※針ストッパーは無くさないように保管して下さい。

### ⑤各メーターシートの取付

※メーターシートはレンズ装着後、カバーを被せてネジを締め込んだ際に、盤面と密着するように成形しています。  
装着後、上部を押さえた状態で針の干渉がないか確認して下さい。



↑ 押さえる前



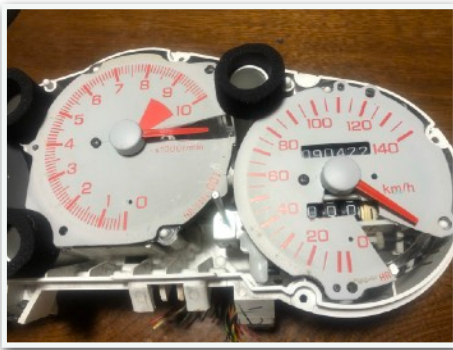
↑ シートを押さえた盤面との密着状態



お好みで文字盤の裏に赤セロファンを貼り付けることをお勧めします。  
電球はLEDへの変更をお勧めします。ヤフオク等で手に入ります。

※3Dプリントの性質上、若干抜き文字の位置がコンマ数ミリ程度ズれることがあります、また、文字盤本体の経年収縮で文字の外周が白く入りこむ際にも、セロファンを使い目立たなくする事ができます。

## スピードメーターの取付



針ストッパー無しで大体5時の位置で針が止まっています。

3Dメーターシートを被せ時計回りに回転させ、文字の抜き位置と合わせます。文字位置を合わせる際は、メーターシートだけではなく、**盤面自体も動かし位置合わせ**をしてネジで固定します。

**メーターシートの外周を上から押さえて盤面と密着させ、指で軽く140kmまで動かし、針先の干渉、針キャップ部分に干渉がないか確認して下さい。**

## タコメーターの取付



**針を指で時計まわりに回し、勝手に止まる位置で止めて下さい。**そこ以上に無理に回すと表示が狂うので押し込まないように注意して下さい。メーターシートを時計回りに回し位置合わせをしてネジで固定して下さい。

針を0回転位置に戻して**外周を上から押さえ盤面に密着させ、指で軽く140kmまで動かし、針先の干渉、針キャップ部分に干渉がないか確認して下さい。**

## インジケーター（水温計、燃料計）の取付

インジケーターのレンズ穴の内側にボンドを塗布し、レンズをはめ込んで接着して下さい。インジケーターの裏面に突起を設けていますので、そこを盤面の穴に合わせてセットして下さい。メーターカバーとの挟み込みでガッチリと固定されますが、ズレ防止の為に背面に両面テープを貼り付けて下さい。



#### ④光漏れ防止 兼 青&緑レンズ固定スポンジの取付

そのままではランプとカバーに隙間が出来てしまいウインカーレンズ等を固定出来ません。また点灯時に横側へ光が漏れますので、メーターユニットのランプが入っている筒の上部に光漏れ防止スポンジを取り付けます。



右ウインカー、ハイビームが少し入りづらいので、必要に応じて当たる場所を少しカットして下さい。

#### レンズの装着

②で取り外したレンズを各メーターにはめこみます。レンズのパッキンのコンディションで少し硬かったり、柔らかかったりするかと思います。レンズの凸を表側にし、間違わないように装着して下さい。

#### ⑤メーターカバー前面へランプを仮固定



カバーを被せる際、ランプの位置合わせと固定しやすいようにマスキングテープ等で、ランプを前面カバーに貼り付けて仮固定し前面カバーを被せます。

**被せる際、トリップリセットの棒を折らないように注意して下さいね。**

バラけないように注意しながら裏返して、①の逆手順でネジを戻し、組み立て完成です。

お疲れ様でした！

3Dメーターシート取付作業は以上です！

完成後、試走して針が盤面に干渉していないか確認して下さい。